

開催期間:

2012.10.21

一回目の送付の際は文字は黒で 2回目以降は修正部分を赤字にしてください

スタッフ:

7名

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

支援者:

久喜市教育委員会 久喜市民まつり実行委員会

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

予算:

2007 US dollar

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

利益／損失:

profit of 1881 dollar

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

誰の為に？

久喜市に住み暮らす人々15万人。とくに小学生。

主語を忘れないように「我々 JCIOOは、」「我々委員会は、」です。

## 目的:

我々委員会は、地域に暮らす子ども達を能動的に行動できる人材へ育成するためにプログラムを実施した。  
彼らが自らの働きで UNMDG を通じて、アフリカの人々の命を救う運動に参加する機会を与える。そうする事で彼らが、

- ①自らが置かれている環境に感謝し、
- ②世界の問題に対して当事者意識を持ち、
- ③その解決に能動的に行動する事が出来る。

そんな人材を育成するために事業を行った。

3 行程度 400 字以内

(背景)日本では事業を実施する前年である2011年に東日本大震災が発生。  
国内の被災者にばかり注目が注がれた。  
その結果、国際的な懸案に対する関心が薄れていた。  
特に子ども達は、国際的な問題に対する関心を啓蒙される機会が乏しくなった。  
遠く離れた異国の人々が抱える問題に対する知識や、手を差し伸べる機会を得る事が難しくなっていた。

最初に目的、後半に背景説明を簡単に書いて下さい。

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

概要:

事前に子ども達は、委員会メンバーが用意した資料を見た。  
マラリアの苦しむ方々の写真パネルや、  
マラリアの感染経路  
何故マラリア感染が防げないのかという映像資料を見た。  
そのことで、自分達が置かれている環境がいかに恵まれていたかということや、アフリカの現状を学んだ。  
そして彼らは知識として知るだけでなく、考え、そして行動した。  
彼らの行動としては具体的に、子ども達が物品の販売や募金活動を行う。その売上げを JCI NothingButNets を通じてマラリア予防の蚊帳購入の資金として募金する。  
事である。(目的より抜粋、修正して加えた箇所が赤字です。)

全部で 400 字以上

行動の結果、子ども達の意識に PositiveChange が起きた。  
対外プログラム実施当日行われたメンバーや子ども達自身が集めた不用品の販売、  
フェアトレードコーヒーの販売、  
地域の名産である梨を使ったアイスの販売、  
そして募金活動に当事者意識を持って、子ども達は能動的かつ積極的に参加した。  
児童に、自分に起きた変化と意見を聞いた。  
国を隔てた人々が抱える問題に無関心であった事を発見した事  
その諸問題に対して自分自身で解決の手助けが出来る事に気が付いた事。  
これらの意見が非常に多く聞かれた。  
子ども達は、自らの生活環境に感謝し、自身の意識を変革させた。  
彼らは、世界的な視野を持ち、能動的に行動する経験をした。  
我々 JCI 久喜は、彼らに率先して行動出来る人間としての一歩を踏み出させる事が出来た。

結果として 169270 円の売り上げを集め、アフリカでのマラリア予防に役立つ蚊帳の購入による国際問題の解決に大きく寄与する事が出来た。

結果をキチンと確認しないとココは書けません。  
解らない場合はすぐに関係者、参加者にアンケートをとり  
関係者からのプラスとマイナスの評価を入手して下さい。

## 結果：

我々の事業は

- ①子ども達に自らの置かれている環境に感謝する。
- ②世界の問題に対して当事者意識を持たせた。
- ③その問題に対して能動的に行動させる事に成功した。

その結果、子ども達の意識に大きな PositiveChange を起こす事に成功した。

また、アフリカのマラリアに苦しむ人々に1881dollarの寄付金を送る事が出来た。

子ども達は事業後に行った事業の感想を発表するセレモニーで、国を隔てた人々が抱える問題に無関心であった事を発見した事、その諸問題に対して自分自身で解決の手助けが出来る事に気が付いた事を感想として述べた。

子ども達が1881dollarもの金額を、JCI NothingButNets を通じてマラリア予防の蚊帳購入の資金として募金出来た事は、子ども達が能動的かつ積極的に行動した結果に他ならない。

東日本大震災により、薄くなりがちであった国際的な懸案に対して、子ども達に当事者意識を持たせる事が出来た。

また、その懸案に自ら手を差し伸べる機会を与える事が出来、あらゆる問題に対して能動的かつ積極的に行動する事が出来る人材育成のきっかけを作る事が出来た。

集まった募金額は想定以上であることから、子ども達の積極性もまた想定以上であったと言える。

## 行動:

2012. 7.17 JCI 久喜担当委員会内にて事業会議スタート  
2012.7.22 JCI 埼玉ブロック協議会 Nothing but nets 担当者とプロジェクトについて会議  
2012.7.23 JCI 久喜メンバーによる Nothing but nets 資料の共通理解会議  
2012. 8.10 久喜市教育委員会より事業に対して後援決定  
2012.9.1 参加募集開始  
2012. 9.27 JCI 久喜理事会にて事業実施決定  
2012.10.5 参加募集締め切り  
2012.10.10 参加児童事前説明会  
2012.10.21 事業当日  
2012.11.28 JCI 久喜理事会にて報告書提出・結果検証

全部で 200 字以上  
2000 字以内程度

事前説明会タイムスケジュール(2012. 10. 10)  
18:00 参加児童集合  
18:10 事業趣旨説明  
18:25 JCI Nothing but nets 内容説明(映像・パワーポイントデータ)  
18:40 マラリアについての説明(映像・パワーポイントデータ)  
18:50 アフリカ諸国と日本の生活水準についての比較(映像・パワーポイントデータ)  
19:00 児童が持ち寄った不用品に、販売時の値段設定  
19:30 閉会

事業当日タイムスケジュール(2012. 10. 21)  
7:00 JCI 久喜メンバー集合・会場設営  
8:55 JCI 久喜メンバーに対して主旨確認及び事業進行確認  
9:00 参加児童集合  
9:15 参加児童へ事業趣旨再確認及び事業進行説明  
10:00 事業開始(子どもバザー・募金活動・梨アイス販売・フェアトレードコーヒー販売)  
15:00 販売終了  
15:30 児童からの感想発表  
17:00 閉会

## 考察や推奨

我々の事業は

- ①子ども達に自らの置かれている環境に感謝する。
- ②世界の問題に対して当事者意識を持たせた。
- ③その問題に対して能動的に行動させる事に成功した。

その結果、子ども達の意識に大きな PositiveChange を起こす事に成功した。

また、アフリカのマラリアに苦しむ人々に1881dollarの寄付金を送る事が出来た。

成功要因としては、参加児童への説明会時に

- ①文字情報だけではなく、マラリアに苦しむ人々の具体的な写真や映像などを見せたり、現地と日本との貧富の差を食事内容などの事例写真を用いて説明。

直感的に懸案の本質についてイメージし易い設えにした事で、子ども達が事業へのモチベーションを高める事が出来た事

- ②蚊帳の効果について、Nothing but nets 介入前後のマラリア罹患患者数の減少データを見せた。

その効果が参加児童の想像以上に大きく、反面、蚊帳の購入にかかる費用について、ファストフードの料金などと比較した。

そうする事で、想像以上にコストが少ない事を確りと理解させる事で、マラリアという国際的な懸案に対して自分達が無力では無いという気付きを与え、当事者意識を持たせた事

- ③販売や募金活動といった、直接的に効果を数字として見る事の出来る事業内容とした事

などが挙げられる。

本事業の本質は「どれだけ募金額を集めたか」という事よりも、「参加児童がどれだけ人類の同胞愛を感じながら事業を行う事が出来るか」という点である。

その意味では①、②によって、参加児童が海を隔てた国々に対して、国境を越えた当事者意識を持って事業に取り組めた事が最大の成功要因であったと感じる。

反省点としては、JCI 久喜のメンバー数50名に対して、参加児童が80名と過多になってしまった事が挙げられる。多くの児童に国際的な懸案に当事者意識を持って能動的に関わらせる機会を与える事は出来たが、その反面、子ども達に対する、販売や募金といった事業自体へのアシストが手薄になってしま

ったり、経過ヒアリングが難しくなりました。

|           |  |
|-----------|--|
|           | <p>本事業の一番の特色は、バザーや販売、募金活動といった、普段ローカルに限定して行っていた事業に、マラリア撲滅という国際的懸案の解決というグローバルな価値を付与した事である。</p> <p>また、その事業を、自主的に懸案解決に関わる事の困難な児童世代対象に開催した事も大きな特色と言える。</p> <p>次代を担う子ども達が、高いモチベーションと当事者意識を持って能動的に事業に参加した事は、久喜地域の子ども達の PositiveChange を得るという意味でも、大変意義深い事であった。</p>   |
| 全部で200字以上 |  |
|           | <p>JCI 久喜では下記の団体よりコメントを入手した。</p> <p>①久喜市教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・JCI 久喜の事業に参加した子ども達から意識の変革を感じた。</li><li>・今後も JCI 久喜との共働を続けて行きたい。</li><li>・JCI 久喜の事業は、青少年事業では難しい国際関与の方法論として秀逸であり、今後の活動の幅を増やす事が出来た。</li></ul> <p>②久喜市民まつり実行委員会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ローカルなお祭りから、グローバルなテーマを発信出来た事に敬意を表したい。</li><li>・来年度以降も JCI 久喜との共催を続けて行きたい。</li></ul> |